

英語研修でロングステイ in コタキナバル

東 晃一 (文京区)

期 間 : 05 年 09 月 08 日 ~ 10 月 07 日 1 ヶ月間

リーダー : 岡安 恭子

参加者 : 9 名

費用 : 22 万円 (OP をのぞくほとんどの費用)

マレーシアは美しい。海、無数の小島、周辺諸国アジア随一の高山 (キナバル山 4095M) を有する。

日本と同様な地勢ではある。

ただ、異なる点は地球上の位置だけだ。

しかし 大変な違いが 2 点ある。

一つは人情、誰もが大変親切、親身になってくれる。かつて、終戦前に日本 (仏教)、韓国 (儒教) が持っていたものである。当地は少数民族 (イスラム教)、マレー人 (イスラム教、キリスト教)、中国人 (仏教、キリスト教) から成る多民族国家ではあるが。

もう一つは、マレー語 (自国語) と同程度に英語を話す。小さな子供までが。50 年前前はイギリス圏であったために、その影響は計り知れないものがある。勿論、最近では日本、中国、台湾、シンガポール等の東南アジア勢の影響が甚大 (言語以外) であるけど。

(その他 電圧 : 220 ボルト、DVD・ビデオテープ : PAL 方式)

この国へ我々 9 人 (全員英語能力はチョボチョボ) が英会話の勉強にやってきた。

授業はマリナコート (宿泊場所 : 1 部屋の中に 3 個室あり、1 個室あたり 1 人で使用、台所もあり自炊できる、テレビ、シャワー、風呂付、25m プールもあり、隣のホテルにて無料で貴重品金庫が使える、大規模スーパー近くに 3,4 店あり) から徒歩で 20 分、または、タクシー 約 130 円のロングステイホリデイの一室で行われ、すべて日本語なしの易しい英語のみで行われた。

特にセリーナ先生 (イギリスで英語教師の経験を有する女性、バプテスト牧師) のレッスンは抜群。誰もが判る はっきり、ゆっくりした易しいイギリス英語。演技力満点の舞台俳優かとも思はせる指導。ゲームを多用した生徒全員参加の練習。現地の図書館、ホテル、ショッピング、レストランで英語を使用して各人が行う実地訓練 (相手は英語のとても上手な現地人 2-3

人が常時付く)。こんな教師が、前に日本に居てくれていたら日本人も自然に英語を話せたらうに。講習最終日には「英会話を日本で学ぶ方法」で締めくくり。

もうひとりの英語教師 Mr.マーク (オーストラリア人) もとても上手。

また、ロングステイホリデイの社員は日本語が話せる。現地で不明の点は何でも教えてくれる。授業以外のツアーの日程はここで組んでくれる。昼食は傍の食堂でとても安い。

旅費に含まれるツアー (授業日程期間中の休日)

ガヤナ島・マヌカン島 (1 泊) : シュノーケリング、パラセーリング、ボートینگ

キナバル公園 : キナバル山麓 (キナバル山 : 標高 4,095M) で 1 泊 : ジャングルトレッキング、ポーリン温泉 (入浴)

現地旅行ガイドは英語 (とても はっきり、ゆっくり、きれいな、やさしい英語、こんな英語ガイドは初めて)

旅費に含まれない講習 (授業日程期間中の休日) と 有料ツアー (最後の自由の 1 週間)

講習 : マレー料理、バティック

ツアー : サンダカン方面 (オランウータン、セリンガン島 ; 海亀の産卵、キナバタン川 ; 天狗猿、蛇、鳥 ほか 2 泊 双眼鏡必携)

他にも色々のツアー有り (参加は各自 自由)

ツアーの宿泊施設は最高、内容は日本発の旅行会社主催のものと同じと推定さる。だけど、現地人同行なのであらゆる点で詳しいし、色々なことを教えてくれる。

マリナコートのすぐ傍に、野菜市場、魚市場、肉市場、果物市場が有り、とても大きい。そして、海辺に面してレストラン街、屋台ふうの食堂、20~30 軒位もあります。

詳しくは下記の参考で。以上は旅行報告。

以下は私個人の感じていること :

英語がなぜ必要か?

英語人口は世界中で半分以下であるにもかかわらず、なにをやるにも英語で表現された世界 (出版物、ビデオも含めて) が余りにも多い。日本で話された、書かれたもの、すべて英語に翻訳されないと世界に通用しない (勿論例外もあるが) ことも事実である。例えばインターネットでも、日本語サイトより英語サイトの方が情報量が格段に多い。

海外旅行の場合 ツアーにしても現地英語の旅行ガイド (現地の空港あるいは、旅行代理店においてあるも

の)の方がツアーの種類も日本語案内よりも豊富だし、同時に値段も比較出来る。また、英語圏以外の国へ行っても英語を話せばある程度通じる。

最近タイ語を勉強しようとしている。タイのインターネットサイトを使いたいから。というのもタイでゲームソフト(正規品で値段が格安)を購入したら操作が全部タイ語でまったく判らず、キーボードも英語キーボード版と構成が違うので打ちようがない。ゲームの使用方法に関しては英語サイトで操作が判明したので解決したが。

韓国ドラマ、映画が今日本で流行している。日本語字幕がかかっているものは理解できる。

DVD・ビデオにしても日本以外では方式、言語が異なる: PAL方式、地域コード。リジョン(地域)コードに関しては私にとっては解決しているが、言語については英語字幕を探してみるしか打つ手はない(日本語字幕はない)。英語が出来れば少なくとも他国製の字幕付DVD・ビデオを見られる。ただ、この国では未だマレー語と中国語の音声だけのVCD(中国語字幕付)はある。値段は格安の世界である。DVDは値段が高いので少ない。

料理の世界も同様。スーパーで調味料、インスタント食品を購入しても英語記載はあるが日本語は当然無い。他国の動植物に関する本やビデオも英語版はあるが日本語版は皆無である。

万事自分の関心事を調べるには目下のところ英語にたよるしかないのが現状である。

今アメリカ最近作ドラマDVDを見ている。日本未発売である。映画のロードショーのように先にみられるのも良い(英語字幕付)。

他国で文化のバロメーターを見るのに本屋の棚の構成も一つの要素だ。

参考文献: コタキナバルに関して

ワールドステイクラブ 2004 秋季特大号 18p-19P

マレーシア政府観光局 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル 5F 電話 0335016691 <http://www.tourismmalaysia.or.jp/>

ロングステイホリデイズ <http://www.goldendays.co.uk/Tours.html> <http://www.longstay.com.my/index.html>

英語語学ツアー <http://www.longstay.com.my/ja/tours/teng.html>

マリナコート リゾート コンドミニウム <http://www.99venus.net/m/hotels/marina/>

ガヤ島 <http://travellers-worldwide.com/11-malaysia/11-malaysia-coral.htm>

キナバル山 <http://www.geocities.jp/aclimberjp/photo/2004/kinabalu01.html>

センガン島 <http://traveler.cside.com/planning/Borneo/Travelog1-3.htm>

http://ww5.enjoy.ne.jp/~sawadeewada/0402_024.htm

キナバタン川 <http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/3115/Riverline.html>

コタキナバルの大きな本屋(スーパー内部にある)に入ってみると、おおよそだけど1/3が中国語、1/3がマレー語、1/3が英語の本である。図書館も全部は見えていないがこれも似たような構成だと思われる。英語がいかにか浸透しているかが判る。ついでに特殊な本はみんなビニール袋に包まれていて中が見られない。店員に開けてくれと頼む必要がある。おもちゃ屋にも英語のゲーム(コンピューターゲームではない)がおいてある。

趣味を多く持つこと、何にでも好奇心を持つことも英語能力を増す手段でもある。頭の回転にも良い。趣味の一つに、“食べたことのないものを食べてみる”ということがある。特に外国旅行には絶好の機会である。

マレーシアで感じたこと:

物価がすごく安い。最高に旨いラーメン 1食 ¥90 (スーパーで購入 朝食用)、昼食 食堂で ¥100 (各種麺、飯もの)、コーヒー ¥30 (食堂で)、結構綺麗なレストランでコーヒー付 一番高いもの ¥300、魚市場で 50cm ぐらいある魚の厚い切り身 2切れ ¥60、海老(大正海老の大位のもの) 500g ¥60、野菜市場 野菜 1キログラム位で ¥30-60、海鮮活き魚料理店 日本の値段の 1/4-1/5 以下(種類が豊富で最高に旨い中国系料理 また行こうと思っている)。住宅もすごく安い。

映画館も入場料 150-210 で会話は英語、字幕マレー語、中国語 二重表記。現地映画は勿論英語なし。例外で値段が高いのは酒類。ビール大瓶 ¥270-330、地元製の酒はいくらか安い。

インターネット料金も安い。ただ手持ちコンピューターに接続する店は見つけられなかった。

